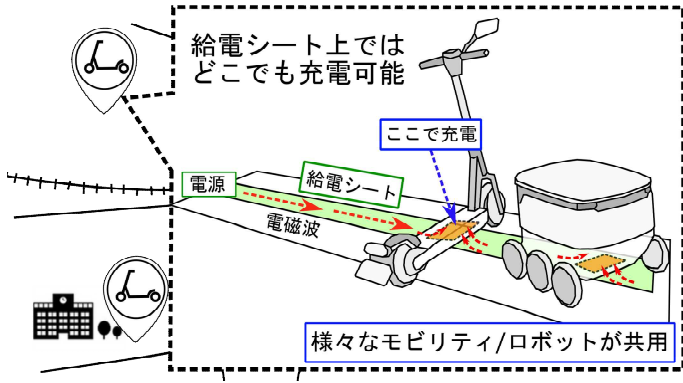


## 令和3年度交通運輸技術開発推進制度 新規研究課題（短期集中型）の概要

採択課題名	安全で広範囲なマイクロモビリティ向け無線給電システムの開発
研究実施者	東京大学
概要	<p>○ 電動キックボード、配達ロボット等の電動マイクロモビリティ向けの、安全で効率的な無線給電システムの開発を行う。</p> <p>○ これにより、充電の自動化が可能となり、電動マイクロモビリティを活用したサービスの省人化、普及促進に寄与する。</p>  <p>無線給電システムのイメージ</p>

採択課題名	アンモニア燃料電池の船用応用に向けた技術開発
研究実施者	株式会社三井 E&S マシナリー
概要	<p>○ アンモニアに対応したエンジンに付随した技術（アンモニアを燃料とする高効率の船用発電装置）を開発する。</p> <p>○ これにより、アンモニアに対応したエンジンの開発が促進され、国際海運のゼロエミッションの実現に資する。</p> <p><b>C-ZERO Japan NH<sub>3</sub></b> アンモニアも、水素と同様に燃焼に際してCO<sub>2</sub>を発生しません。毒性など注意すべき課題はありますが、水素と比べると貯蔵が容易です。</p>  <p>アンモニア燃料船のイメージ（出典：国際海運のゼロエミッションに向けたロードマップ（国際海運 GHG ゼロエミッションプロジェクト））</p>